

下水汚泥発生量は年々増加していますが、大部分は埋立処分され、下水汚泥リサイクル率は平成17年度で、49%（東北全体を100%とした場合、緑農地利用41.2%、建設資材利用58.8%）と低い状況にあります。東北各県でみると、青森県が最もリサイクル率が高く100%、次いで岩手県の96%の順であり、宮城県が最も低い状況にあります。

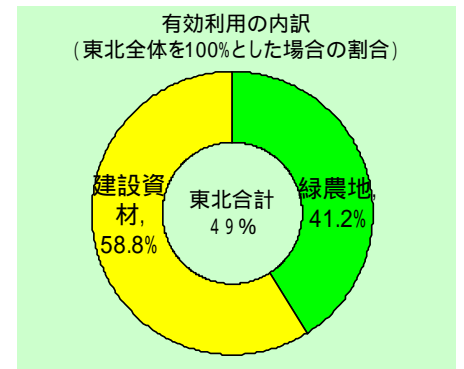
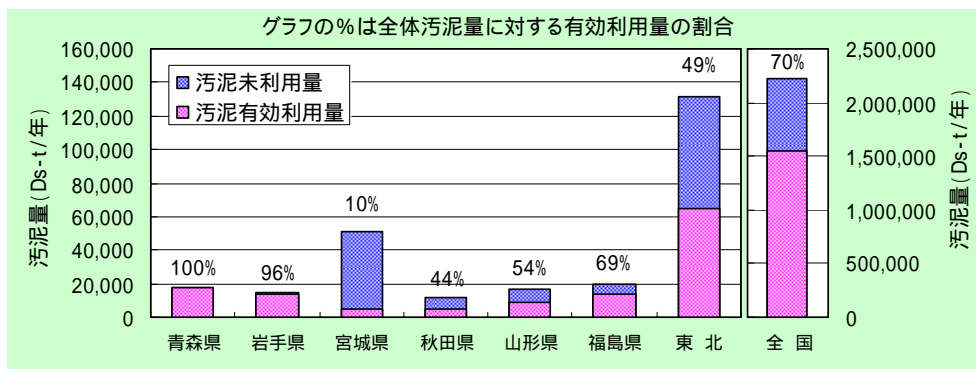
汚泥の有効利用状況（平成17年度）

（単位：Ds-t/年）

県名	埋立処分	緑農地	建設資材	その他
青森県	0	9,389	8,413	7
岩手県	560	3,138	10,643	0
宮城県	46,333	88	4,938	0
秋田県	6,372	1,159	3,880	0
山形県	7,754	9,180	7	0
福島県	6,304	3,649	10,068	0
東北	67,323	26,604	37,949	7
全国	678,644	308,334	1,228,128	12,265

県名	汚泥総量 = + + +	有効利用量 = + +	有効利用率 = / × 100
青森県	17,808	17,808	100%
岩手県	14,341	13,781	96%
宮城県	51,358	5,026	10%
秋田県	11,411	5,039	44%
山形県	16,941	9,187	54%
福島県	20,022	13,718	69%
東北	131,882	64,559	49%
全国	2,227,371	1,548,727	70%

資料：東北地方整備局データ



汚泥の有効利用状況（平成17年度）